

CAFE BALCONY CAFE

カフェ・バルコニーの家

通信

平成26年7月号(第50号)

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY

七夕まつりでは短冊にどんな願いを書かれるのでしょうか。ご家族の健康や長寿を願ってみる方も多いでしょうね。公共の施設などの七夕の短冊を見てると色々な願いが書いてありますね。七夕の短冊の多くの願いが叶うと嬉しいです。

日差しが強い夏真っ盛りなので水分補給をきちんとして熱中症にならないようお気を付け下さい。

カフェ・バルコニー通信7月号をお届けします。



撮影者：高橋秀明

「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



誕生日会

初の試みでバルコニーを飛び出して、近くの公民館で試食会を兼ねて誕生日会がありました。普段とは違って作業台が4つあることで、みんなが料理に係ることができていい経験になったのではないかと思います。自分は4月生まれでしたが、プレゼントもいただいて祝ってもらえたのでよかったです。 M. M.



○料理の感想

5月の誕生日会は初めて磯辺公民館の2階の調理室でおこないました。磯辺公民館の調理室を使用していると学生の頃の家庭科実習を思い出した方もいらっしゃいました。

今までの誕生日会は磯辺のカフェ・バルコニーでおこないましたので磯辺公民館は新鮮な感じでした。でもいつものカフェ・バルコニーの誕生日会が落ち着くという方もいらっしゃいました。

恒例の試食会では手のこんだ料理が出ました。地域の茶の間のメンバーの皆様に料理の感想を聞いてみました。

まず皆様に料理をご覧になった時の印象をうかがいました。料理の色あいが良く食欲をそそるという意見がありました。

美味しい料理番組を視聴していると食べたくなるのに似ているというコメントもありました。

いわしのロールフライはフライのわりには油がしつこくなくさっぱりしていていわしの癖もないのもう一度食べてみたい、大葉の香りが香ばしいという意見もありました。

さつまいものレモン煮はみずみずしくて野菜というより見た目も味わいもおしゃれなデザートみたいでしたというコメントがありました。

出来立ての料理は暖かくて私たちの舌をうならせました。いつもの食事より豪華な料理を頂けて満足しているという声もありました。



私たちは誕生日会ではいつも記憶に残る美味しい料理が食べられて嬉しいです。

いわしのロールフライのメニューは終了しましたが、カフェ・バルコニーでは毎週メニューを変えて美味しい料理を作っていますので、カフェ・バルコニーにご来店して頂けると幸いです。

最後にいつもお仕事を頑張って下さっているお誕生日の方に心よりお祝いを申し上げます。

誕生日会に参加した地域の茶の間メンバー一同



金曜日の午前、卓球

皆さん、金曜日の午前のプログラムを忘れていませんか？そう、こころの健康センターでの卓球です！毎回来るメンバーが少なく決まった人が来てます。

初心者のラリーを続けるだけの温泉卓球から元卓球部のスマッシュを打ち込む本気な感じまで、自分にあったレベルで楽しめます。

広い体育館を使って卓球していると贅沢な気持ちになります。ストレス解消にもってこいです。

K. T.



デコパージュ

6月のデコパージュ、私はサマーバッグに青いバラ柄のナプキンを選んで、デコパージュしました。月1回ですが、先生にお会いするのが楽しみな、貴重な時間です。

また、デコパージュだけでなくビーズも教えて下さるので、アクセサリ作りにも興味のある方も是非参加してみてください。

S. S.



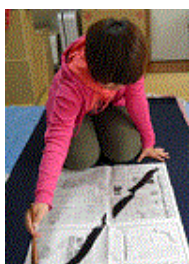
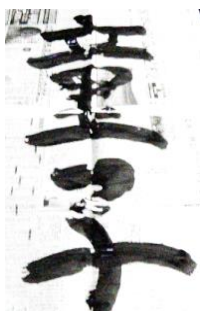
絵画教室のプログラム

私の数少ない趣味はクラシック音楽と美術館巡りです。この二つは日常の喧騒や病気の症状を忘れさせてくれてゆっくりした時間を過ごすことができる。特に絵を鑑賞しているとその作家さんの世界に引き込まれ異空間を体験できる。さて地域の茶の間の絵画教室に参加してから、やはり美術品鑑賞と同じような気分になるから不思議なものだ。もとより絵のセンスは無いのであるが、ひたすら集中し絵を描いているとイライラやストレスを忘れさせてくれる。このように私にとって絵画教室は病気の快復にもやくだっているようだ。この際絵の上手い下手は関係ない。みなさんも無心になって絵画教室に参加しませんか。

Y. K.



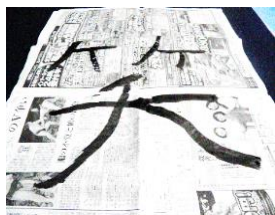
メンバーの書の紹介



今回は日頃のメンバーの書の活動を紹介したいと思います。皆さんそれぞれの個性を生かした良い作品を書いています。

最初の作品はいつも優しいAさんの座敷童子の童子という書です。座敷童子のいる家には幸運がやってくるそうです。

Aさんはアニメーションで座敷童子に好感をもち童子という字を書きたくなったそうです。



次の書の作品はBさんの笑です。Bさんは普段からにこやかに話しされる方で笑という漢字が似合うかたです。書の時間はみんなでリラックスして笑顔で楽しみながら書道をしています。なので笑という字は書の時間を象徴していると感じます。

Bさんは久しぶりの書道で気分が良かったので笑という前向きな言葉を書いたそうです。



次はCさんの本音という作品を紹介します。人と本音で話し合いたいという事で本音という言葉を選んだそうです。本音で話すというのは意外に難しいところがありますが本音で真っ直ぐ話そうという意気込みが感じられる作品です。



次の書はDさんの人間です。Dさんの直感で人間という文字を書こうと思ったそうです。Dさんの力強い筆さばきで書かれた人間という作品はDさんらしいパワーのある作品だと感じました。

最後の作品はEさんの梅雨です。Eさんは普段は書の時間は畑で働いてます。書の時間と畑の時間が同じ時間なのは残念です。でもEさんは久しぶりの書道で2回も作品を書くほど楽しかったそうです。

Eさんは畑やフットサルや園芸やマラソンなど外で身体を動かすことが大好きな方なので梅雨が早く終わって欲しいという願いをこめて梅雨と書いたそうです。

5名のメンバーの書を紹介しました。でもページの都合で残念ながら紹介しきれなかった名作もたくさんありますのでまた書の写真を掲載していきたいです。
I . T .



さわやか福祉財団から豪華な机2卓、屏風、おでん鍋、茶器、お皿、カプチーノメーカー器、寄贈

さわやか福祉財団本部からさわやか関東のインストラクターに「財団に丸テーブルと座卓等の寄贈がありました。問い合わせてください。」というメールが流れてきました。

利用者も増えてきましたし、今ある木曽塗の座卓では手狭なうえ、花梨製で重くお茶のお稽古時に動かすのが難儀でしたので、軽い気持ちで問い合わせしてみました。メールで写真も送られてきました。座卓は津軽塗



の様に見えます。丸卓は鎌倉彫のような彫り物が施されていますがよく分かりません。「見るだけでもいいですか？」と問い合わせましたところ気持ちよく応じてくださり、2月27日に日本橋本町のビジネスビルの最上階である8階のお住まいに見に行きました。

財団の職員さんのお話によると、「さわやか福祉財団と長年お付き合いのあったご婦人が亡くなられ、前年にご主人、息子さんもずっと前に亡くなられ、引き継ぐ方はおられないのですが、江戸時代から続くご立派な家柄の方でしたので由緒あるものだと思いますよ。」という話しでした。机2卓はおしゃれで時代を彷彿させるものでした。津軽塗のような細かい模様入りの塗もので螺鈿入りでした。丸卓は真ん中に壽という

文字が彫られ、周りにも足にも彫り物がびっしりと刻まれていました。すっかり気に入りに有難く頂くことにしました。「屏風を見ていきませんか？清水肇子事務局長さんが「藪下さんの所のレストランに向いている」とおっしゃっていました」と言われれば、見ていかなければ悪いような気がして「見るだけです。屏風など置けないような狭い家なのですから・・・」と言いつつ、見せていただきました。

古代布と思しき正絹の丹後ちりめん、和歌入りの浮世絵が16面刷られ、それが屏風仕立てになっています。立派なものです。勧められて新品の、おでん鍋、茶器、お皿、カプチーノ器まで頂いてしまいました。持ち帰り、カフェバルコニーの和室に置いてみたところ、華やかに明るくなり、レストランのお客様からは「屏風を何でも鑑定団にだしてみればいかが・・・？」と言われていました。ご興味のある方は是非見に行ってください。ついでに鑑定もしてください。
藪下 敦子



カフェ・バルコニーの家からのお知らせ



1. カフェ・バルコニーの家では、毎月第1土曜日 10:30~14:30、家族会を開催しております。気軽にお問い合わせください。
2. カフェ・バルコニーの家ではNPO法人「カフェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる平成26年度賛助会員を募っています。入会金2,000円 年会費3,000円(1口)です。賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。
3. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる応援団を募集しています。年会費は1,000円からです。(郵便振替 00180-2-322417 NPO法人カフェ・バルコニーの家) をお願いいたします。振込用紙は各郵便局にあります。
4. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために、当会の活動に体験参加できます。
5. 当会で2年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験資格**が得られます。(調理実習が免除されます)
6. ボランティアさんを募集しています。レストラン調理(補助)・和菓子作り・パソコン・経理・音楽・スポーツなど、いろいろな活動のボランティアさんを募集しています。メンバーと一緒に楽しもうという気持ちがあれば、誰でも出来ます。まずは、気軽に体験してみてください。(問合せは043-377-3502 藪下、043-441-3193 石川まで)
7. 賛助会員として一年間ご支援ありがとうございました。
岩本桂子様、川副泰成様、上田都美子様、榎 一郎様、福原麗子様、甘粕修三様、布施貴良様、田中英三子様、栗山 京様、平澤泰明様、石橋恭子様、根本真名恵様、佐藤恵子様、松本明子様、鈴木真理子様、田井潤蔵様、小山ひろ子様、高橋英江様、廣瀬道子様、中山伶子様、茂木信彦様、小出幸子様、漆山 亨様、林 喜美子様、笹島静恵様、斎藤ひろ子様、一村美鈴様、江本素子様、藤田一巳様、大島敏廣様



<カフェ・バルコニーの家 通信 第50号 07月号>

- 発行場所 : NPO法人カフェ・バルコニーの家
千葉県美浜区磯辺3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 藪下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- E-mail : cafe-balcony.mihama@cnc.jp

